



【日本気象協会からのお知らせ】

2017年12月4日

「クイズで学ぼう STOP! ヒートショック」を tenki.jp で公開

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川裕己、以下「日本気象協会」）は、東京ガス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：広瀬道明）と共同で開発した「ヒートショック予報※¹」に関連する新たなコンテンツとして、ヒートショックについての正しい知識・対策を学ぶことができるコンテンツ「クイズで学ぼう STOP! ヒートショック」を、2017年12月4日（月）から天気予報専門メディア「tenki.jp（てんきじえーびー）※²」（パソコン版・スマートフォン版）で公開します。



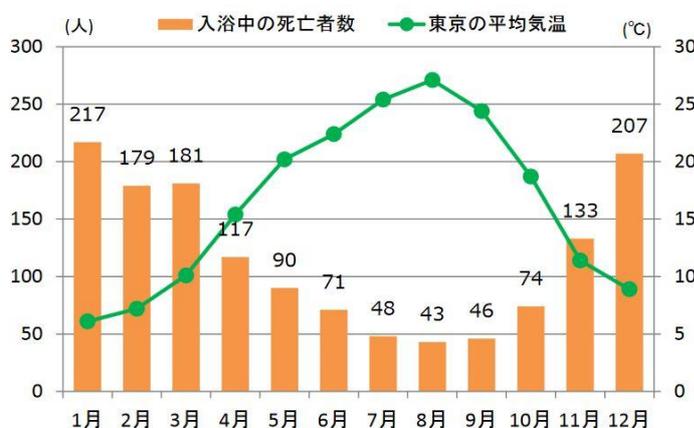
画面イメージ パソコン版



画面イメージ スマートフォン版

ヒートショックとは、寒い部屋から暖かい部屋への移動など、温度の急な変化が体に与えるショックのことです。東京都監察医務院が発表しているデータによると、冬季は入浴中の事故死が多くなる傾向があります。入浴中の事故による死亡者の多くは高齢者であり、ヒートショックが原因の一つであると考えられています。

東京都の平均気温と23区内における入浴中の死亡者数（2016年）※³



東京都監察医務院「東京都23区における入浴中の事故死の推移」（2017年6月1日）および気象庁「過去の気象データ検索」からの2016年気温データをもとに東京ガス都市生活研究所作成

「クイズで学ぼう STOP! ヒートショック」は、クイズに答えることで、ヒートショックについての正しい知識・対策を学ぶことができるコンテンツです。日々のヒートショックのリスクの目安となる「ヒートショック予報」と併せて確認することで、これからの季節のヒートショックの予防対策にお役立てください。



◆「クイズで学ぼう STOP! ヒートショック」へのアクセス方法

パソコン：<https://tenki.jp/promotion/2017-12-04.html>

スマートフォン：<https://tenki.jp/lite/promotion/2017-12-04.html>

◆公開期間

2017年12月4日（月）から2018年2月28日（水）まで〔予定〕

※1 「ヒートショック予報」 <https://tenki.jp/heatshock/>

日本気象協会と東京ガスが2017年2月に共同開発・発表した、気象予測情報に基づき家の中で生じる温度差などから算定した「ヒートショックのリスクの目安」を知らせる情報です。2017年10月から、天気予報専門メディア「tenki.jp（てんきじえーびー）」で全国の市区町村ごと約1,900地点の7日先までの「ヒートショック予報」を提供しています。

※2 「tenki.jp（てんきじえーびー）」 <https://tenki.jp/>

日本気象協会が発表する気象情報を、Webサイト/スマートフォンアプリで無料提供している天気予報専門メディア。年間ページビュー数は25億PV（Webページ・iPhone/Androidアプリ合算での推定。）生活に欠かせない天気予報に加え、専門的な気象情報、地震・津波などの防災情報も確認できます。気象予報士が日々更新する「日直予報士」も人気コンテンツ。

※3 東京ガス 都市生活研究所 都市生活レポート 東京ガスの「浴育のすすめ™」

“暖かい”入浴のすすめ より <http://www.toshiken.com/report/hot36.html>

以 上

- ・内容は発表日現在のものです。予告なしに変更されることがあります。
- ・tenki.jpは日本気象協会の登録商標です。